



TOKYU Geox

私たちの事業内容は地球産業です。
建設資材事業
骨材販売事業
建設請負事業

東急ジオックス株式会社
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-16-14 渋谷地下鉄ビル
TEL.03-3406-7111 FAX.03-3406-7117
<http://www.tokyu-geox.co.jp>

渋谷スクランブルスクエア第1期(東棟)



近代建築

令和2年4月5日発行 (毎月1回日曜日発行) · 第74巻4号
発行元 = 株式会社近代建築社 / T-101-0031 東京都千代田区東神田2-10-17東神田INビル6階 電話=03-3864-7741 (㈹)

KINDAI KENCHIKU

近代建築

April
4

Vol.74
2020

特集 渋谷のダイナミクス

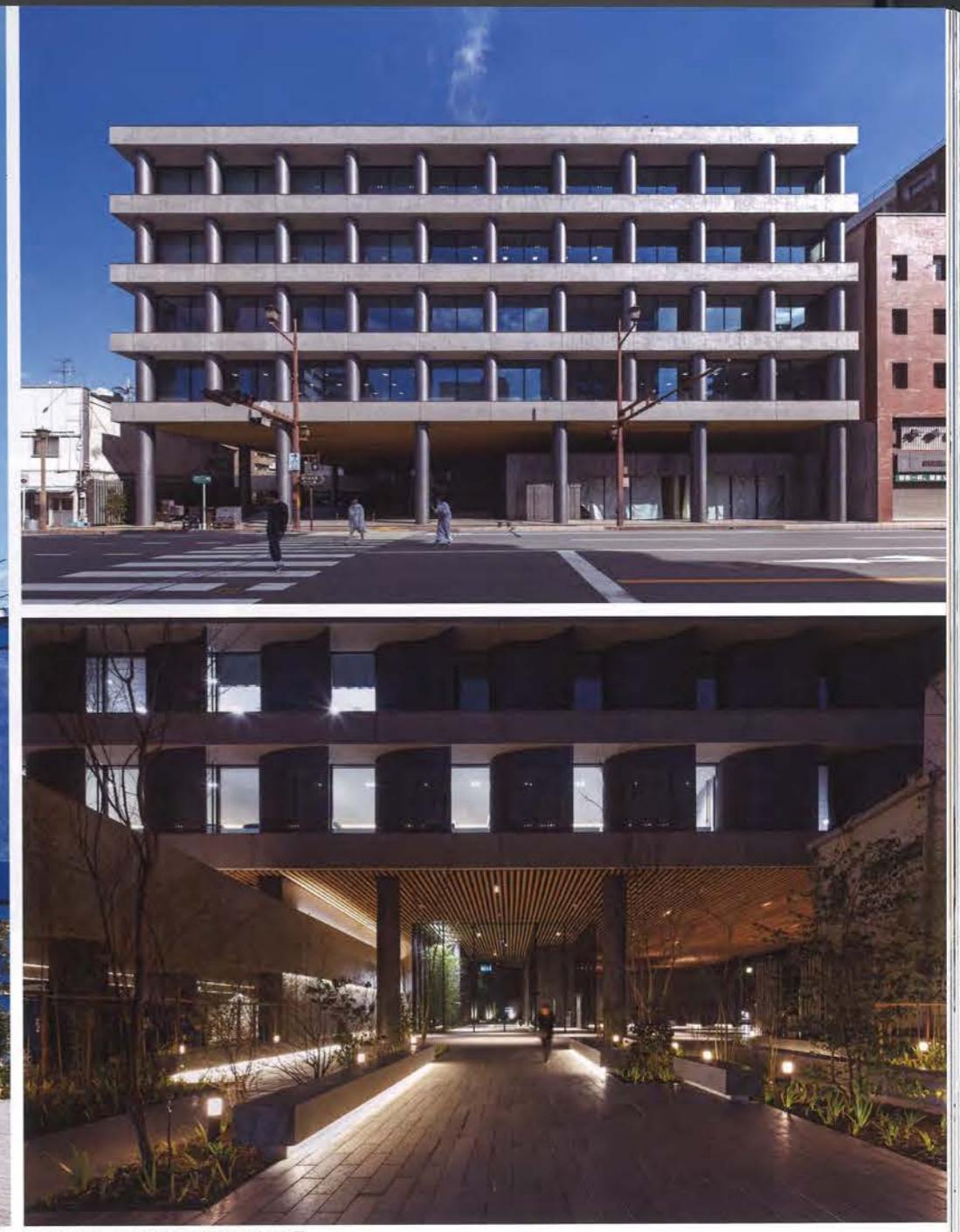


K熊本ビル

熊本市中央区

設計・監理／日建設計

施工／五洋・建吉特定建設工事共同企業体



上／南側外観 下／並木坂SDKスクエア 夕景

主旨

元企業のレガシーをつくる

熊本ビルは、熊本市都心部の北の玄関立地するテナントオフィスビルである。主は熊本から福岡に本社を移転した西気工業で、2010年から地元への恩返し的に旧本社用地周辺の再開発に取り組み、2019年8月に完成した。事業主が本計画した理念は、賑わいの創出を重視した貢献まちづくりである。この理念が、熊本における厳しい賃貸事務所事業環境でもSDK熊本ビルを成立させ、建築と人間とのあり方を照らし出した。理念を実現するため、SDK熊本ビルが地域に欠かせないになると同時に、多くの人に利用され続ける不動産にもなる必要がある。このバ

ランスがとれた時、持続力のある地域貢献の形ができるのでないだろうか。

一 地域経済の特性を考慮したオフィス計画

支店経済都市である熊本では小規模な小割テナントが主流であるが、コールセンター等、フロア貸しの需要もあり、柔軟性の高い貸室計画が求められた。SDK熊本ビルでは、一般的な小割貸しやフロア貸しから一步踏み出し、廊下の境界壁を撤去するだけで、貸室が拡張できる設備・防災計画を採用し、より多様な貸方オプションが提供できる。また、営業部支店が多い熊本ならではのテナント需要から、27のテナント区画に対し、64台の自走式駐車場を完備している。特に3階は駐車場とテナントオフィスを同じフロアに計画することでより利便性の高いオフィス環境を提供している。

一 熊本の環境にふさわしいワークプレイス

日差しの強い熊本で、日射対策は本計画の重要なポイントであった。テナントエリアは開放感が確保できる南面と西面に計画しつつ、各方位に合わせた日射対策を行った。南面は水平庇とアウトフレームの柱による影を利用し、夏場の14時から16時の間は直射日光が室内に入らないように庇の深さを設定した。西面では曲面の遮光パネルを、明るさ・開放感・日射量のバランスをBIMにより検討を行い設定した。曲面の遮光パネルにより、同様の明るさを基準とした場合、直射日光の量は40%程度低減される。すべての共有部には自然光が入る計画としながら、緑豊かなリフレッシュラウンジ、オープンカウンター、ミーティングルーム等充実したサポート空間

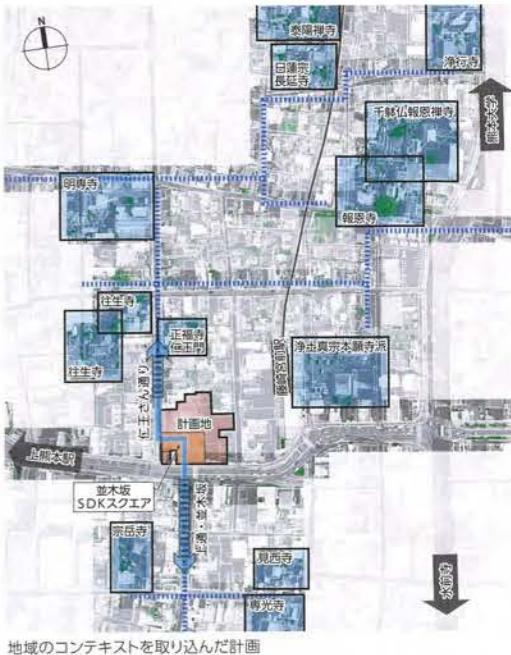
を提供することで新たなワークスタイルが生まれることを期待している。

一 記憶の継承により、地域創生の器をつくる

計画地は城下町として栄えた上通りエリアの並木坂と、かつて寺町であった坪井エリアの仁王さん通りを結ぶ結節点に位置している。このような敷地条件から本計画による「空間的・時間的な結び」が地域活性化の切口になるのではないかと考えた。エントランスと小店舗を除いたすべての空間を街に開放した外部空間は「街の空間的結び」を図った仕掛けである。日常は並木坂と仁王さん通りを結ぶ通り道となり、イベント時は街に開かれた舞台となることで、賑わい創出の器になることを期待している。また、寺町という地域特性を現代的に再構築し、後世に伝えることが

「地域の時間的な結び」になると考へた。瓦・垂木・列柱等をデザインモチーフとして借用し、寺町のアイデンティティを具現化することで、地域の記憶を継承するアイコンとなり、長く愛されることを願っている。

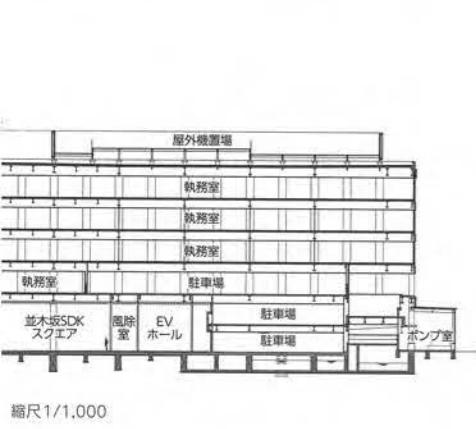
(羽月喜通、LEE YOUNGSEOK／日建設計)



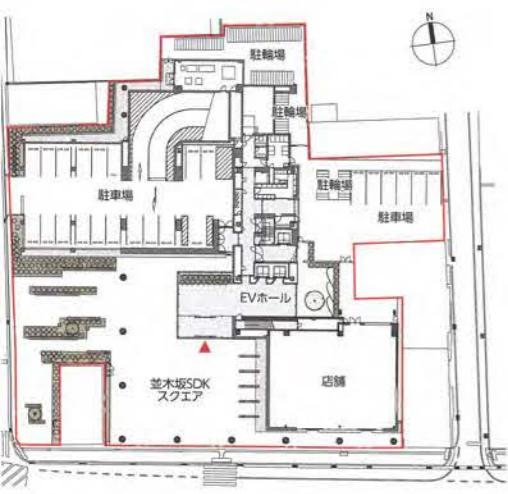
地域のコンテキストを取り込んだ計画



執務室（西側）右上／執務室より遮光パネルを見る 左下／並木坂SDKスクエア 右下／ゆとりのあるリフレッシュラウンジ



基準階平面図



3階平面図



自然光を積極的に取り入れたコア計画

構造計画

一 使いやすい室内空間と立面計画の配慮
鉄骨造純ラーメンの基本架構は、執務室のサッシに面する柱梁をアウトフレーム状に屋外寄りへ配置し、室内への柱型突出を回避した。また、8.6m間隔の本柱間に耐震間柱を設け、L字型の建物平面のバランスを確保し、剛性と耐力も高めている。本柱と耐震間柱から成る列柱はファサードの構成要素となり、意匠と構造の効果的な融合をねらっている。なお、耐震設計の地域係数は0.9ではなく1.0を採用した。

一 立地に即した確実な基礎構造

敷地は熊本城内堀に合流する坪井川と白川の間にあたる。地盤面から10m程度堆積する沖積層以下に支持層が分布するため、経済性にも配慮して高支持力既製杭を採用して建物を確実に支持する基礎構造とした。加えて、土質試験結果から地盤の液状化の可能性が小さいことを確認している。

一 現場打ちコンクリートの外装部分への対策

外観上で特徴的な各階水平方向に連続する現場打ちコンクリートの外装部分は、スタッドボルトを介して鉄骨梁と一体化を図った。ただし、乾燥収縮に加えて日射や外気温の影響を考慮して、4.3m間隔のスリット設置による縁切り等、コンクリートひび割れの発生を抑制する対策を施した。

（鳥越一成／日建設計）

施工計画

本プロジェクトは、熊本市中心街の北の玄関口となる商店街と住居区域との接点に位置し、敷地は複雑に入り組んでいる。敷地南面に県道1号線、東西面に市道が隣接するが、南面・東面では部分的な接道であるため、材料や機械の搬入路は制約が多く、事前の慎重な搬出入計画に基づき工事計画を立てた。また、当初から市内大型再開発と工事期間が重なり協力会社の人員確保に苦慮することが予測されたため、熊本エリアのみならず、ほぼ九州地区全域からの協力を仰ぎ、工程上も作業員の山崩しを行い調整した。外装材はRC製、セメント成形板、鉄製やアルミキャストパネルの各種金属部と多岐にわたり、異材種間の取合が多いため、3Dモデルなどを活用し納まり検討を行った。特に外周梁型部のRC打放し部については、骨材並びに混和剤検討、工区分け、打設順序、打継部処理、止水性などの検討を密に行った。これらの集成として敷地内にモックアップ棟

をつくり、自然光の中での設計者の意図する外装仕上がりを発注者並びに関係各者に確認していただいた。また、市街地ということで近隣・通行人に対して、タッチパネル式のサイネージを活用し、使用建設機械や各種の情報発信を行うことで、地元市民への建設工事についての理解と認知に努めた。以上の結果として、重大災害や大きなトラブルもなく、発注者の地域貢献の思いに沿って、設計者の意図する地域活性の場となる施設の実現に関与できたことをうれしく思う。

（横山直樹／五洋建設）



施工状況

SDK熊本ビル データ

所在地 熊本中央区坪井2-1-42

主要用途 貸オフィス

建築主 西部電気工業株式会社

設計・監理 日建設計

担当／総括：羽月喜通

建築：リヨンソク、平野悠哉、渡邊祥平、羅頤宰、構造：長瀬悟、吉田和彦、染谷朝幸、鳥越一成、山崎正幸、設備：岸克巳、前田浩史、植田里沙、佐藤孝輔、中川滋、松村早千絵、武田尚吾、都市計画：西田康隆、守井辰、伊藤雅人、小松良朗、ランドスケープ：小松良朗、監理：林博之、森栄示（元社員）、勝部名実子、稻光和利

施工 五洋・建吉特定建設工事共同企業体

担当／総括：横山直樹 所長：川上浩規、平原裕樹、森健、藤川幸生、芹田大輔、内田大貴、菅原祐輝、浅田裕介

設計期間 2016年11月～2018年2月

工事期間 2018年3月～2019年8月

【建築概要】

敷地面積 3,303.46m²

建築面積 2,247.42m²

延床面積 10,143.10m²

建ぺい率 68.04%（許容100%）

容積率 241.12%（許容558.82%）

構造規模 S造 地上6階

最高高さ 29.080m

軒高 24.330m

階高 4.2m

天井高さ 2.8m

主なスパン 8.6m×8.6m

道路幅員 22.13m

駐車台数 64台

地域地区 近隣商業地域、商業地域

【設備概要】

電気設備 受電方式／高圧6.6kV 2回線受電（本線・予備線） 变压器容量／1φ600kVA、3φ1,500kVA 予備電源／ディーゼル発電機300kVA

空調設備 热源・空調方式／電気式空気熱源パッケージ空調機

衛生設備 給水／上水、雑用水2系統給水、加圧給水方式及び水道直結給水方式 給湯／貯湯式電気温水器 排水／汚水、雑排水合流方式

防災設備 消火／屋内消火栓設備、連結送水管設備、泡消火設備、移動式粉末消火設備 排煙／機械排煙 その他／非常放送設備、自動火災報知設備、避雷設備、非常照明、誘導灯

昇降機 メイン乗用2基、サブ乗用1基

【主な外部仕上げ】

屋根 A防水、抑えコンクリート

外壁 コンクリートサンドブラスト仕上、アルミキャス

ト遮光パネル

建具 鋼製建具、塗装

外構 コンクリートブロック

【主な内部仕上げ】

廊室 床／タイルカーペット 壁／石膏ボード+塗装

天井／岩綿吸音板

EVホール 床／フローリング 壁／石膏ボード+塗装

天井／スチールエキスパンドメタル

エントランスロビー 床／コンクリートブロック 壁／アルミキャスト 天井／不燃木

撮影／近代建築社（ジェイクス 佐藤二郎、佐藤健太）

協力会社

電気設備工事	住友電設
空調・衛生設備工事	九電工
昇降機設備工事	フジテック
杭工事	三谷セキサン
杭頭補強・鉄筋工事	JFE商事 鉄鋼建材
型枠工事	長瀬建設
鉄骨工事	博陽工業
クレーン工事	小山
屋根工事	ミリオンテック
外壁・Oハイブリッドペーリング工事	O SHIROX
アルミキャスト	ミツク
アルミ製建具工事	YKKAP
鋼製建具工事	不二サッシ 九州
鋼製建具・シャッターエン	三和シヤッターエン
押出成形セメント板	アイカテック
防水材	ダイフレックス
木ルーバー・フローリング工事	昭和洋構製作所
植栽工事	安藤造園 土木
スリットみぞ蓋	力ネソウ



上／北東側外観 左中／南東側外観 左下／市民ロビー 右／東側外観

建築計画

昭和33年に建設した高知市旧本庁舎は、耐震性の不備や老朽化、庁舎の狭隘化や分離化、不十分なバリアフリー設備の限界など、さまざまな課題を抱えていた。そのような機会上の課題を解決し、今後発生が予測される南海トラフの地震に備え、防災拠点としての機能を備えながらも、市民の日常の憩いの場としての庁舎の実現が求められた。

- 旧庁舎の継承

コンクリートを基調とした重厚感のある外観は、旧庁舎の意匠を継承している。古き良き意匠を継承しながら、ウォータージェットによってコンクリート表面に凹凸をつけ、光によって表情が変化するコンクリート外装を実現した。また、建物配置についても旧庁舎を倣い、東側に低層棟、西側に高層棟を配置することで、建物の圧迫感を軽減し、開放感のある前広場を設けている。議場内の議長背面壁は、旧庁舎議場で使用されていた木材を再利用し、「過去に学び、明るい未来を議論する議場」を表現した。

— 高知の文化・風土に根ざした空間づくり
新庁舎には、高知県産の木材・石灰石・土佐和紙等を積極的に採用し、高知の風土に根ざした意匠計画とした。自然素材を用いることで、高知ならではの、あたたかみのある空間で市民の方々を迎える計画である。市民ロビー内の柱には、高知県産の16種類の木材をランダムに配置した木リブ柱を設置し、ロビー空間に賑わいを与えていた。フローリングやカウンターなど、経年の劣化が懸念される箇所には、圧密木材を使用することで、

長期にわたり木材の質感を損なわず、愛着をもって使用していただけるよう配慮している。

— まちと庁舎をつなぐ「前広場」と「市民開放ゾーン」

庁舎東側の前広場は、まちと庁舎をつなぐ、市民の憩いの場である。植栽やベンチを各

所に配置し、市民の方々が日常的に利用できるスペースを計画した。また、前広場側低層部にコンビニや多目的スペースを配置することで、市民開放ゾーンと前広場を一体的に

活用できる計画としている。2階レストランには、テラスを介して前広場から直接アクセス

することができ、市民の方々にも利用していくことを期待している。

(川島克也、田中公康、水上和哉／日建設計)



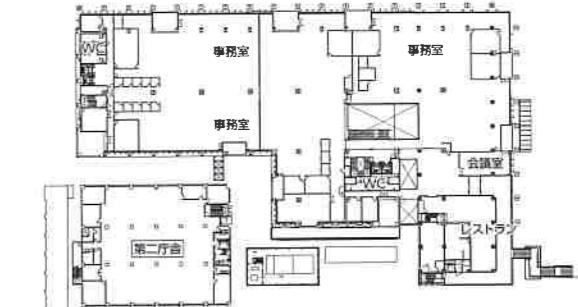
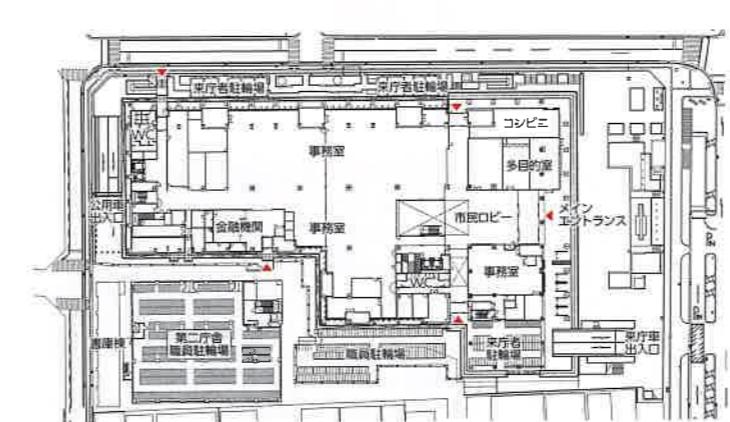
川島 克也……かわしま かつや
1957年京都府生まれ。1981年京都大学大学院工学研究科修了、同年日建設計入社。現在、同社代表取締役副社長

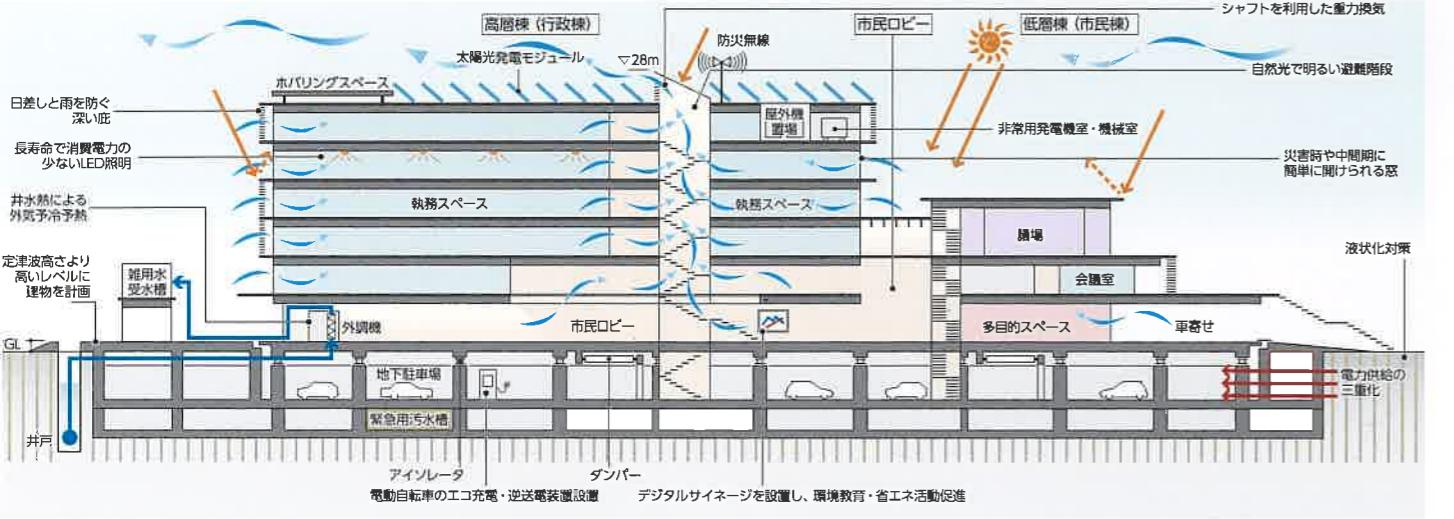


田中 公康……たなか きみやす
1967年兵庫県生まれ。1992年東京理科大学理工学部修士課程修了、同年日建設計入社。現在、同社設計部門ディレクター



水上 和哉……みずかみ かずや
1988年富山県生まれ。2011年大阪大学工学部地球総合工学科卒業、2013年東京大学大学院工学系研究科修了、同年日建設計入社。現在、監理グループスーパーバイザー





断面図

備考

・高知の気候を活かした環境配慮型まちづくり拠点
エネルギー・水資源の自給自足を目指し、光、風、緑、土、風を最大限利用し自立した施設計画している。具体的に「光：太陽光発電、自然採光」、「水：井水・雨水利用」、「緑：外緑化」、「土：井水熱利用」、「風：自然換気」を採用している。

・水利用については、設計初期のボーリング調査時に水質調査を行い水質が非常に良いことを確認し、単に雑用水利用するだけではなく水槽へ補給する際に外調機の予熱予冷イルに通すことで、外気負荷の低減を図っている。また、井水はパッケージ室外機や空ヒートポンプチラーへの散水を行うことで、冬期の機器効率向上と電力デマンド低減を図計画している。

・向データ等により南風が比較的多いことから、執務室の南北の窓を開けることによる水換気に加え、建物中央に位置する階段上の窓を開けることによる重力換気も可能計画とし、自然換気効率を上げて冷房期間の短縮を図った。

・高知の気候を活かした設備システムの構築に加え、庇による日射遮蔽やLow-Eガラスによる断熱化等を実施した結果、CASBEE-Sランク（竣工段階）の認証を取得した。

・災害時も自立した施設設備計画
・波や内水氾濫などの水害、地震等によるインフラ途絶時（断水や停電）でも災害対策としての機能を十分確保した設備計画とした。電力は本線・予備電源線・災害時用電源の異ルートでの3回線受電による信頼性向上、非常用発電機や熱源機器を最上階に配置し、防災センターや受水槽を2階レベル

に設置することで水害にも対応している。また、自然換気用の窓は災害時の換気性能確保の役割を担う。非常用発電機は72時間対応用のオイルタンクで備蓄を行い、井水利用により雑用水を確保し、さらにペットボトルの備蓄に加え災害用浄化装置による飲用利用も可能としている。下水インフラ途絶に対しても緊急用排水槽を確保している。太陽光発電設備の一部は電気自動車充電システムと連携し、常時は再生可能エネルギーを電気自動車に充電、非常時は電気自動車より逆送電を行いエントランス等の照明・コンセントに電源供給可能としている。

快適な執務空間の形成

1階は床吹出し空調を採用することで、冬期の足元の冷えを防止する計画としている。ま

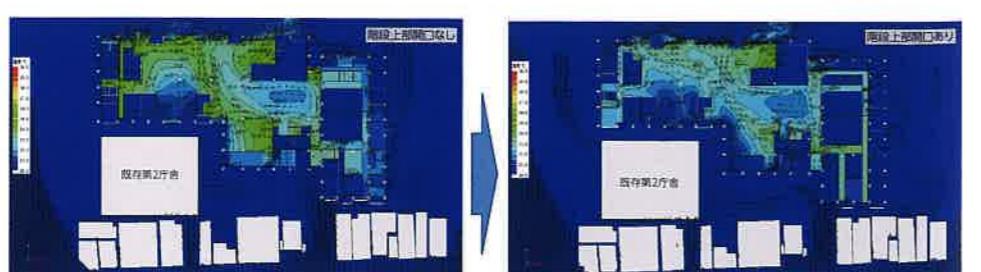
（藤井拓郎、津村昌伸／日建設計）



藤井 拓郎……ふじい たくろう
1979年香川県生まれ。2004年大阪大学大学院工学研究科修了、同年日建設計入社。現在、同社エンジニアリング部門設備設計グループアソシエイト



津村 昌伸……つむら まさひろ
1981年大阪府生まれ。2006年同志社大学大学院工学研究科修了、同年日建設計入社。現在、同社エンジニアリング部門設備設計グループアソシエイト



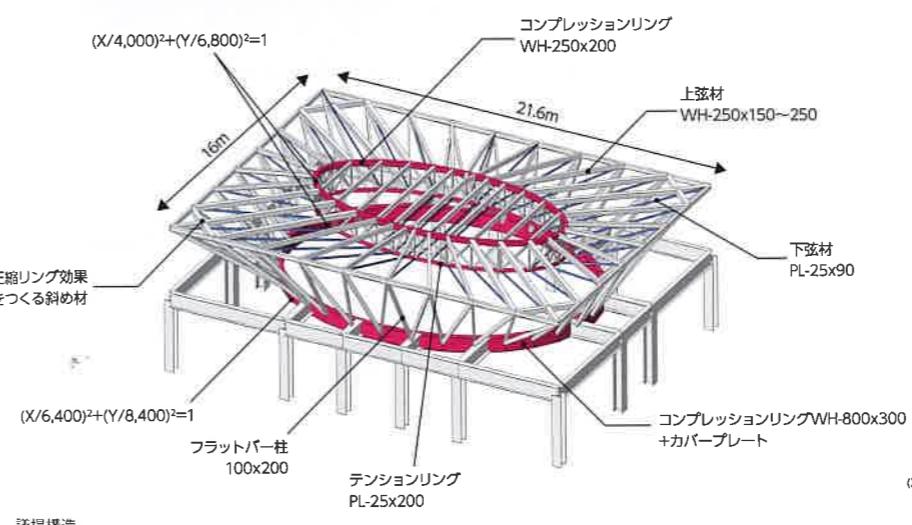
自然換気シミュレーション（左：階段上部開口なし 右：階段上部開口あり）



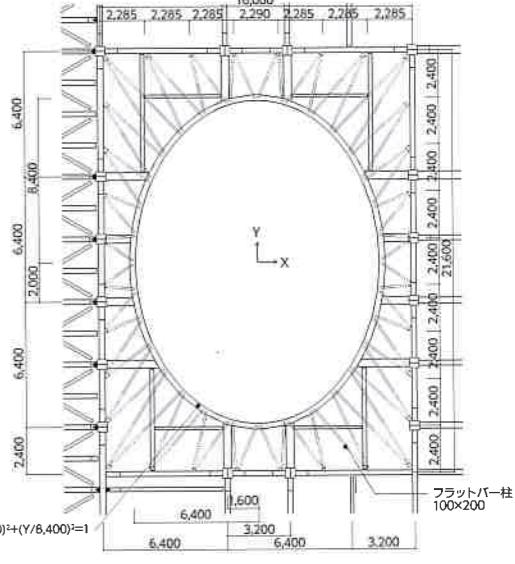
外観全景



議場内観



議場構造



議場梁底図

構造計画

一 災害拠点としての構造計画

高知市庁舎は近い将来必ず起こる南海トラフ地震に対して最も重要な災害拠点の一つとなる。躯体の損傷を抑えるとともに床の揺れを低減し、発災後すぐに活動拠点となりうる免震構造を採用了。駐車場である地下1階の柱頭に積層ゴムアイソレータを配置し、地下階を免震層として有効活用することで高性能かつ経済的な免震構造を実現した。

一 円弧と四角を数学と力学でつなぐ議場

議場は水平垂直を基調とした外装と円弧上の内装を組み合わせたデザインである。一般的に構造上調和し難い四角形と円弧を数学と力学を使って融合させた。四角形の箱を支持する扁平バー柱は、脚部を楕円形に、頂部は長方形屋根の外周に接続し、楕円周上に傾けることで、鉛直荷重だけでなく地震力を負担させると同時に、デザインに一役買っている。屋根面は扁平バー柱で支持された長方形の骨組の中に2段の楕円形骨組を配置し、長方形骨組と楕円形骨組を放

射状に接合した。上段の長方形骨組はコンプレッションリング、下段の楕円骨組はテンションリングの役目を果たしており、構造全体として立体的な張弦梁の機構を成している。ディテールにおいては、ボルト1本1本の位置、スプライスプレートの形状に至るまで5mm、10mm単位の繊細な設計を心がけ、象徴的な架構を有する議場を実現した。

（加登美喜子、朝日智生／日建設計）



加登 美喜子……かとう みきこ
1970年兵庫県生まれ。1995年神戸大学大学院工学研究科修了、同年日建設計入社。2009年京都大学大学院工学研究科博士課程修了。現在、日建設計エンジニアリング部門構造設計グループディレクター



朝日 智生……あさひともき
1983年岐阜県生まれ。2006年名古屋工業大学工学部社会開発工学科卒業、2008年東京工業大学大学院総合理工学研究科修了、同年日建設計入社。現在、エンジニアリング部門構造設計グループアソシエイト

施工計画

本工事は近い将来必ず発生するであろう南海トラフ地震に備え、災害対応拠点の切り札として建てられたものである。

基礎、地下1階柱（免震下部）までが鉄筋コンクリート造、1階床基礎（免震上部）および上柱、外周部が鉄骨鉄筋コンクリート造、これが鉄骨造と全ての種類の構造が採用されおり、地下1階柱頭免震構造という難易度の高い構造でもあるため、工事計画もさまざまな構造に応じた多様な計画、検討が必要であった。

また、議場の屋根鉄骨は四角と円弧が組み合わさった複雑な構造となっており、詳細な施工計画を立案した上でモックアップ、実施工でのミリ単位でのジャッキアップダウンと緻密な施工管理を実施した。

外装仕上げでは、ハイブリッドピーリング工法によりコンクリートの打放し面に直接凹凸を付け表情を出す繊細な施工管理、内装仕上げでは、高知県の象徴である木材を天井、壁、床にさまざまな形で使用した納まりについて、設計図では表現しきれない部分の検討、詳細計画を立案し、通常以上に繊細な

施工管理を実践した。

周辺環境としても、北側は高知県庁、東側は消防署、市役所仮庁舎、地下駐車場出入口などがあり、日中の通りや一般車両の通行也非常に多く、工事用車両の出入りには特に細心の注意を払う必要があった。さらに南側および西側には、騒音・振動に配慮が必要な病院、事務所、住宅などが建ち並び、かつ南西部には市役所第二庁舎が同一敷地内に隣接し、その業務に支障が出ぬよう動線を確保しつつローリングにて工事を進める必要があり、通常の施工管理とは比べ物にならない配慮をしながら工事を進めた。

今後、高知市民が気軽に利用しやすい憩いの場となり、かつ災害対応拠点として市民にとってかけがえのない存在でありランドマークとなる建物「地図に残る仕事」が、無事竣工を迎えることができたことは、当社のグループ理念「人がいきいきとする環境を創造する」を実現できたと自負している。

（坂口浩通／大成建設）



全景（施工中）



議場鉄骨（施工中）

坂口 浩通……さかぐち ひろみち
1968年徳島県生まれ。1991年日本大学工学部建築学科卒業、同年大成建設入社。現在、同社四国支店建築部建築作業所作業所長

高知市庁舎 データ

所在地 高知県高知市本町5-1-45

主要用途 市庁舎

建築主 高知市

設計・監理 日建・上田特定設計委託業務共同企業体

担当／総括：川島克也、若林亮 建築：田中公康、赤木隆、水上和哉、牧治彦、大沢祥二 構造：塚越治夫、加登美喜子、朝日智生、石鈞吉 電気：小倉良友、小稻克也、津村昌伸 空調：田中宏明、藤井拓郎、水出喜太郎、高山眞、陳石 コスト：島田太郎、片山孝志、白石裕也、辻謙一、小林忠彦、中垣俊雄、三浦満雄 ランドスケープ：河野孝章、小野光則 監理建築：徳田幸弘、中辻鉄也 監理設備：徳田幸弘、中岡猛 CR：西田佳代、近藤実

大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体

担当／門田文男、坂口浩通、十倉正年、田村敬、傍士隆、國枝大作、瀧本幸弘、大江太一

電気 きんでん・日産電機・豊栄電気特定建設工事共同企業体

担当／岡崎憲也、有澤利喜、稻野友弥、柳原涼、岡田幸彦

空調 日東・四国パイプ・四国水道特定建設工事共同企業体

担当／釣井光、北川雅人、松本昌和

衛生 須賀・四国パイプ特定建設工事共同企業体

担当／丸山英明、川村邦隆、今井孝明、掛水伸一

計画期間 2014年4月～2016年3月

工事期間 2016年6月～2019年11月

建築概要

土地面積 13,307.04m²（第二庁舎、書庫棟、旧計量検査敷地を含む）

建築面積 6,483.04m²

床面積 32,457.86m²

割合率 63.46%（許容80%）

容積率 221.30%（許容500%）

構造規模 S造、SRC造、免震 地下1階、地上6階

最高高さ 27.950m

軒高 26.050m

階高 3.900m

天井高さ 2.700m

主なスパン 6.4m×6.4m

駐車台数 124台（来庁者用）

地域地区 市街化区域、商業地域、防火地域、準防火地域、駐車場整備地区

【設備概要】

電気設備 受電方式／高圧6.6kV（本・予備電源・災害時用電源の3回線受電）変圧器容量／4,500kVA 非常電源／ディーゼル式発電機750kVA

空調設備 空調方式／外調機+電気マルチパッケージ空調機方式（1階は床吹出空調）熱源／ガスヒートポンプチラー+電気ヒートポンプモジュールチラー（冷温水2管式）

衛生設備 給水／上水+井水（雑用水）2系統給水（受水槽+加圧給水）給湯／個別給湯 排水／污水雑排水分流排水

防災設備 消火／屋内消火栓、屋外消火栓、泡消火、不活性ガス消火設備 排煙／機械排煙+自然排煙

昇降機 乗用（15人乗）×3基、乗用（24人乗）×1基

【主な外部仕上げ】

屋根 アスファルト保護断熱防水

外壁 コンクリート化粧打放しピーリング工法シリカコートティング

建具 アルミ押出型材二次電解着色

外構 コンクリート刷毛引き仕上

【主な内部仕上げ】

市民ロビー 床／県産杉材圧密フローリング 壁／県産杉材ルーバー、石こうボードEP 天井／県産杉材ルーバー、岩綿吸音板

執務室 床／OAフロア下地タイルカーペット 壁／石

こうボードEP 天井／岩綿吸音板

講壇 床／OAフロア下地カーペット 壁／県産杉材木リブ 天井／岩綿吸音板

撮影／近代建築社（清水向山建築写真事務所）

*印撮影／アトリエ リベラ/河合止揚写真事務所

協力会社

解体工事	オアシス・イラボレーション
液状化対策地盤改良工事	兼松サステック
掘削・コンクリート・仮設工事	英工務店
型枠工事	尾崎工務店
鉄骨工事	大和建工
鉄骨製作	長安鐵工
鉄筋工事	北陸建工
鉄筋工事	天野・日清
U型鋼材ダンパー	北岡工務店
生コンクリート納入	日鉄エンジニアリング
建設機械レンタル	日和崎生コン
外部階段P.C工事	アクトイ
屋根工事	東海コンクリート工業
外壁OXハイブリッドピーリング工事	元旦ビューティ工業
金属工事	O.S.H.I.R.O
鋼製器具工事	オオツカ
軽量鋼製道具・トイレスース工事	日鋼サッシュ製作所
木アルミ複合カーテンウォール工事	三和シヤッター工業
D.P.G工事	ニュースト
押出成形セメント板	A.G.C硝子建材
シリリング材	ノザワ
表裏工事	サンスター技研
左官工事	北村塗装
内装仕上工事	野崎組
内装仕上工事	幸和
庄園フローリング	大家建材
住設工事	後藤木材
ウッドデッキ工事	ダイキアクシス
外構工事	上田消防建設・松山店
スリットみぞ蓋	昭和洋樹製作所
	前田道路

住友不動産秋葉原ファーストビル

東京都千代田区

総合監修／住友不動産
設計・監理／日建設計
施工／前田建設工業



OSHIROX では、独自の加工技術の組み合わせで、これまでにない世界にひとつのコンクリートの壁をつくります。

SDK 熊本ビル

熊本市中央区
2019年11月

設計／日建設計
施工／五洋・建吉特定建設工事共同企業体

外壁

OSHIROX ハイブリッドビーリング工法 SB (特殊ビシャン)
高濃度含侵シリカコート
外構ベンチ
OSHIROX ハイブリッドビーリング工法 PBP (人研ぎ出し)
高濃度濡れ色含侵シリカコート
外壁
OXC-WF 工法 (フッ素クリア)



高知市庁舎

高知県高知市
2019年11月

設計／日建・上田特定設計委託業務共同企業体
施工／大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体

外壁

OSHIROX ハイブリッドビーリング工法
WJRH (ウォータージェット複合意匠)
高濃度含侵シリカコート
OXC-WF 工法 (フッ素クリア)
外壁 RC
OXC-WAS 工法 (無機系変性シリコン複合クリア)
外壁 ECP
OSHIROX ハイブリッドカラーコーティング工法



事業内容 ▶ 世界で一つの壁を作ります。:ハイブリッドビーリング工法 (ウォータージェット、特殊ビシャン、研ぎ出し) 責任施工
ハイブリッドカラーコーティング工法 (特殊塗装) 責任施工 含侵シリカコーティング剤及び、特殊塗料、特殊コーティング剤製造販売

株式会社

OSHIROX

代表取締役 牧野 宰之

<http://www.oshirox.jp>

【本社・ショールーム】

〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋4-1-55 TEL:06-6690-7372 FAX:06-6690-7373

【工 場】

〒653-0032 兵庫県神戸市長田区苅藻通1-3-17 TEL:078-671-1641 FAX:078-671-1641